

(認定 NPO 法人) ストップ結核パートナーシップ日本

2014 年 (H26) 活動報告

1 月	<p>UHC 勉強会@清瀬への参加 (1/9)</p> <p>環境研究総合推進費 S-11 + Beyond MDGs Japan 合同シンポジウムへの参加 (1/17)</p> <p>持続可能な開発目標 (SDGs) とポスト・ミレニアム開発目標 (MDGs) の統合に向けて</p>	
2 月	<p>インドネシア 伝統的影絵による啓発活動の実施 (2/23)</p> <p>(一般財団法人国際協力システム (JICS) 助成事業)</p> <p>時間: 9:00-12:00</p> <p>場所: インドネシア ソロ スラカルタ市</p> <p>関係者: ストップ結核パートナーシップインドネシア、インドネシア結核予防会 (PPTI)、ソロスラカルタ市、大塚製薬</p> <p>インドネシアの伝統的文化影絵「ワヤン」使って啓発活動を行った。楽しみながら結核について学んでもらった。</p> <p>3/24 には、ローカルテレビ局で放映された。</p> <p>H25 決算監査 承認 (2/19)</p> <p>場所: 水道橋ビル 5F 小会議室</p> <p>平成 25 年度 保健計画部会保健事業発表会への協力 (2/28)</p> <p>場所: エル・おおさか 5 階 視聴覚室</p> <p>テーマ: 大阪の地域ケア、公衆衛生の現状と将来</p>	 
3 月	<p>第 2 回東南アジア, 西太平洋, 中東・地中海ナショナル STB フォーラムへの参加 (3/3~3/4)</p> <p>テーマ: 「私たちの結核の成功の拡大と継続」</p> <p>開催場所: インドネシア ジャカルタ</p> <p>参加国: 11 カ国</p> <p>テーマ: 「私たちの結核の成功の拡大と継続」</p> <p>S T B J 活動紹介、ワヤン紹介</p>	

決算理事会 (3/4)

H25 年度会計報告承認



世界結核デー記念フォーラムへの参加 (3/6)

**第 19 回 国際結核セミナー・平成 25 年度全国結核対策推進会議
への参加 (3/7)**

場所：ヤクルトホール

ポスター展示： 「医療関係者の結核」 田中慶司事務局長



平成 25 年度 ストップ結核パートナーシップ関西

第 1 回ワークショップの開催への共催 (3/11)

場所：大阪赤十字会館 4 階 401 号

大阪市の外国人の結核患者の現状と課題など

世界結核デーに向けた記者発表実施 (3/19)

場所：厚生省記者クラブ

- ① 世界の結核最新状況とドラックラグ ～
- ② 清瀬と結核療養の関わりについて
- ③ インドネシアの伝統的影絵ワヤンを活用した啓発活動








ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟総会への参加 (3/25)

- ① 「平成 26 年度予算 (案)」について厚生労働省、外務省よりヒアリング
- ② 「ストップ結核ジャパンアクションプラン」について橋本事務局長より概要説明



国境なき医師団との情報共有 (3/28)

世界結核デーの情報共有、「結核マニフェスト」賛同呼びかけへの協力

<p>4 月</p>	<p>島尾先生とめぐる結核ゆかりの地ツアー実施 (4/3) 協力：結核研究所 対策支援部、清瀬市、東京病院 清瀬病院跡、石田波郷記念碑、結核研究所、BCG研究所 外気舎、東京病院 参加者：61名（渋谷清瀬市長など） メディア：朝日新聞（4/15 東京本社版、多摩版） 東京MXテレビ（4/4 18:00 MXニュースで放送）</p> <p>インドネシア伝統的影絵による啓発活動 事業発表 (4/21) 場所：結核予防会大会議室</p> <p>ストップ結核ジャンパンアクションプラン改定に向けて小野崎郁史先生（WHO/GTB/TME）を囲んだ意見交換会実施 (4/22) 場所：結核予防会小会議室</p> <p>長田功先生を偲ぶお別れ会へ参加 (4/30) 場所：リーガルロイヤルホテル東京</p>	  
<p>5 月</p>	<p>海外NGOスタディプログラム報告会へ参加 (5/12) インドネシア伝統的影絵による啓発活動の発表 場所：早稲田奉仕園</p> <p>第89回日本結核病学会総会へ参加 (5/9～5/10) 場所：長良川国際会議場 STBJ 展示ブース 糖尿病と結核、リウマチと結核、医療従事者の結核</p> <p>結核ラウンドテーブル：被さい地の結核と技術革新のブレークスルー (5/23) へ参加 日本リザルツと共催 場所：ホテル・ルポール麹町</p> <p>国境なき医師団のタブロイド紙『Frontline』への協力 次回発行号に薬剤耐性結核の問題を取り上げる予定。 誌上に、元薬剤耐性結核患者である成瀬匡則理事にコメントのご協力をいただき、掲載予定。</p>	 

改定アクションプラン個別説明

厚労省感染症課 (5/26)

外務省 国際保健政策室 (5/26)



6 改定アクションプラン個別説明

月 厚労省国際課 6/3

JICA 6/3

内閣官房 6/25

国際シンポジウム（マカオ）の打ち合せ（6/4）

キアゲンと協働



アクションプランフォローアップ会合へ出席（6/10）

場所：外務省

① 外務省、厚労省、JICA、JATA、STBJ より平成25年度下半期の活動報告

② 改定アクションプランについて



改定アクションプラン 外務省、厚労省、JICA、予防会の決裁終了（6/27）

議連総会への協力（6/19、6/25、6/30）

武見敬三事務所、橋本事務所への改定アクションプラン説明（6/30）



7 月 **ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟総会への参加 (7/1)**

- ① 第 67 回 WHO 総会における 2015 年以後の結核予防、治療およびコントロールの世界戦略と目標の決議等」について厚生労働省よりヒアリング
- ② 講演「結核の脅威のない世界を目指した WHO の新世界戦略と日本への期待」
講師 WHO 事務局長補 中谷比呂樹 氏
- ③ 改定ストップ結核ジャパンアクションプラン」について橋本事務局次長より説明



→ **改定版ストップ結核ジャパンアクションプラン承認**



大塚製薬「デルティバ®」が 日本初の多剤耐性肺結核の適応で承認取得 (7/4)

S T B J は多剤耐性結核新薬開発基金で協力。

「大塚製薬が創製した「デルティバ」は日本において約 40 年ぶりの抗結核薬の新薬で、日本で唯一の多剤耐性肺結核の薬剤となる。本年 4 月の欧州に次ぐ承認

健康・医療戦略推進本部「医療分野研究開発推進計画」及び「平成 27 年度 医療分野研究開発関連予算等の資源配分方針」（平成 26 年 7 月 22 日閣議決定）に、ストップ結核ジャパンアクションプランが、新興・再興感染症制御プロジェクトの項目に明記、アクションプランの内容が考慮された。

「予防接種に関する基本的な計画、特定感染症予防指針及びストップ結核ジャパンアクションプラン等を踏まえ、病原体の薬剤ターゲット部位を同定すること等を通じ、新たな診断薬・治療薬・ワクチンのシーズの開発を実施する」

「2015 年 5 月に採択された WHO の結核対策に関する新戦略を受け、2020 年までに我が国が低蔓延国入りできるよう、結核に関する研究を推進する」

H27 年度予算要望活動

-武見事務所面談 (7/3)

-厚労省へ要望書提出 (7/24)

宛先

技術総括審議官、厚生科学課長、審議官(医薬品等産業振興、国際医療展開)、審議官(がん対策、国際保健担当)、国際課長、国際協力室長、健康局長、結核感染症課長

-外務省へ要望書提出 (7/25)

宛先

国際協力局長、国際協力局参事官、地球規模課題審議官地球規模課題審議官、国際保健政策室長



8
月

H27 年度予算要望活動

-厚労省 面談 (8/5、8/14)

-議連要望書提出 (8/22)

宛先

菅官房長官、田村厚労大臣、岸田外務大臣

-STBJ 要望書提出 (8/22)

宛先

田村厚労大臣、岸田外務大臣



Asia TB Experts community Meeting 開催 (8/15-8/17)

座長：森 亨 先生

	<p>テーマ：“Active case finding -Strategy for accelerated TB Elimination in Asia.”</p> <p>場所：シャラトン マカオ</p> <p>キアゲンと協働。</p> <p>参加人数：96人</p> <p>参加国：14か国（中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国マカオ、マレーシア、シンガポール、台湾、タイ、フィリピン、US UK）</p>	 
<p>9月</p>	<p>結核予防週間に向けた記者発表（9/11）</p> <p>時間：11：00～11：40</p> <p>場所：厚労省記者会</p> <p>① ストップ結核ジャパンアクションプランの改定</p> <p>② 平成25年国内結核の概況 ～日本を低蔓延国にするための課題～</p> <p>③ 結核対策の技術革新 ～世界に対する日本の貢献～</p> <p><u>→ 読売新聞 「早期治療で感染拡大を防ごう」社説掲載（9月22日）</u></p> <p>研究概略調査</p> <p>浜田事務所提出（9/30）</p>	
<p>10月</p>	<p>グローバルフェスタへの参加（10/4-5）</p> <p>場所：日比谷公園</p> <p>結核予防会と協働で啓発活動を実施</p> <p>G I I / I D I 懇談会への参加（10/23）</p> <p>場所 外務省</p> <p>第69回国連総会外務省報告など</p> <p>ACCJによるランチョンセミナーへの参加（10/30）</p> <p>場所 東京アメリカンクラブ</p> <p>スピーカー</p> <p>Dr Nobuhiko Okabe (MD, Ph.D, Director General, Kawasaki City Institute for Public Health)</p> <p>公衆衛生におけるワクチンの重要性など</p>	

	Dr. Seth Berkley (CEO, Gavi, the Vaccine Alliance) ワクチン市場のニーズとトレンドなど
11月	<p>第73回公衆衛生学会総会へ参加 (11/5~7)</p> <p>場所：栃木県総合文化センター</p> <p>S T B J のテーマ：2020年までに低蔓延化に向けて</p> <p>その他、世界結核概況、WHO 新戦略、改定アクションプランなどの情報提供</p> 
12月	<p>指導者研修修了者会議への協力 (12/6、7)</p> <p>アクションプランについて</p> <p>平成26年度ストップ結核パートナーシップ関西 第2回ワークショップへの共催 (12/13)</p> <p>テーマ あいりん地区の結核の現状と将来の展望</p> <p>場所 あべのハルカス</p> <p>第9回ストップ結核パートナーシップ日本総会開催 (12/16)</p> <p>G I I / I D I 懇談会への参加 (12/18 予定)</p> <p>場所 外務省</p>